

業務委託契約書

〇〇株式会社（以下「甲」という。）と××（以下「乙」という。）は、本日、以下のとおり業務委託契約（以下「本契約」という。）を締結した。

第1条

甲は、乙に対し、〇〇に関する業務（以下「本件業務」という。）を委託し、乙はこれを受託する。

2 本件業務の詳細については、別紙仕様書のとおりとする。

3 乙は、善良な管理者としての注意をもって本件業務の遂行にあたらなければならない。

第2条

本件業務の契約期間は、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日までの〇年間とする。ただし、期間満了の〇か月前までに、甲又は乙が相手方に対して何らの意思表示を行わないときは、本契約はさらに〇年間更新され、以降も同様とする。

第3条

甲は、乙に対し、本契約の委託料として、月額金〇円を支払う。

2 乙は、毎月末日締め翌月〇日までに甲に請求書を提出し、甲は請求書の受理に応じて、同月末日までに前項の支払いを、乙指定の銀行口座に振込む形で行う。振込手数料は甲が負担する。

※納品日から60日以内の日付を設定してください

3 第1項の委託料は、経済情勢の激変等により金額が著しく不相当であると認められるときは、甲乙協議のもと変更することができる。ただし、原則として減額はできないものとする。

第4条

甲及び乙は、本件業務に関して知り得た、相手方の技術上及び営業上の一切の情報について、相手方の事前の書面による承認がない限り、第三者に開示・漏洩してはならない。

2 前項の規定は、本契約終了後もなお効力を生ずる。

第5条

乙は、甲の本件業務の全部または一部を、第三者に再委託してはならない。ただし、甲に書面による事前の承認を得た場合はこの限りではない。

2 乙は、本契約の当事者たる地位及び本契約によって生ずる権利若しくは義務を第三者に譲渡してはならない。

第6条

乙は、甲に対し、毎月末日に当月分の本件業務報告書を提出する。

2 乙は、前項以外にも甲に求められたときは、本件業務について速やかに報告を行うものとする。

第7条

乙は、乙及び乙の従業員が本件業務遂行中に過失により甲もしくは第三者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、乙の責めに帰することができない事由がある場合には、この限りでない。

第8条

甲及び乙は、本契約期間内でも、〇〇日前に相手方に通知することで、本契約を解除することができる。

2 甲及び乙は、相手方が次の各号のいずれかに該当すると合理的に認められる場合には、何らの通知をすることなく、直ちに本契約を解除することができる。

(1) 相手方が本契約の履行に関し、不正の行為をしたとき

(2) 相手方が本契約の規定の一に違反したとき

3 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当すると合理的に認められる場合には、何らの通知をすることなく、直ちに本契約を解除することができる。

(1) 乙の業務処理が不相当であり、改善の余地がないと認められるとき

(2) 乙が本契約を履行できないとき。

4 本条の規定は、損害賠償の請求を妨げない。

第9条

乙及び乙の従業員は、甲が、甲の従業員のために設置しているハラスメントに関する相談窓口を利用することができる。(部署：〇〇 担当者：〇〇 連絡先：〇〇)

第10条

本契約に定めなき事項または本契約の解釈に疑義が生じた事項については、甲乙間において真摯に協議するものとする。

第11条

本契約に関する裁判上については、〇〇地方裁判所を第一審の管轄裁判所とする。

以上、本契約の成立を証するため、本書二通又は本書の電磁的記録を作成し、甲乙記名押印若しくは署名又は電子署名のうえ、各自保管する。

令和 年 月 日

甲	住所	
	会社名及び代表者名	印
乙	住所	
	氏名	印